研修医評価表（救急・集中治療部）

A：十分達成　B：ほぼ達成　C：やや不十分　D：全く不十分　NA：評価できない

評　価　項　目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
救急患者の病歴聴取・身体診察を的確に行える。										
救急患者の鑑別診断を挙げることができる。										
救急患者の命に係わる疾患を除外することができる。										
救急患者の鑑別・除外診断に必要な検査をオーダーすることができる。										
救急患者の鑑別・除外診断に従い、必要な初期治療を開始することができる。										
適切なタイミングで専門医にコンサルトすることができる。										
心肺停止患者に対し BLS を施行できる。										
心肺停止患者に対し ACLS に協力できる。										
外傷初期評価を的確に行える。										
重症患者の病態を臓器別に評価し、把握できる。										
中心静脈カテーテル挿入手技について説明できる。										
中心静脈カテーテルを挿入できる。（部位は問わない）										
胃管を挿入できる。										
動脈圧ラインを挿入できる。										
除細動の同期、非同期を理解し、病状に合わせ適切に施行できる。										
集中治療経過票を判読し、病状の変化を把握できる。										
集中治療患者の鎮静レベルを評価できる。										
集中治療患者の人工呼吸器設定を理解し、呼吸状態を把握できる。										
集中治療患者の急性血液浄化療法の目的と適応を理解できる。										
集中治療患者の凝固異常を評価し、ＤＩＣ病態を把握できる。										
重症感染症の細菌培養を的確に検査することができる。										
重症感染症の細菌培養検査から、抗菌薬の選択を理解できる。										
集中治療患者の経腸栄養、中心静脈栄養につき組成、カロリー計算を理解できる。										
集中治療患者における早期経腸栄養の必要性を理解し、説明できる。										
感染予防対策を理解し、実施できる。										
救急・集中治療患者に特有の医療安全管理を常に意識し実施することができる。										